

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院麻酔科に、無痛分娩で通院された患者さんへ

和歌山県立医科大学麻酔科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

硬膜外無痛分娩1か月後の完全母乳育児に及ぼす因子の検討 - 後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学麻酔科学講座 助教 平井 亜葵

3. 研究の目的

母乳は育児にとって最良の栄養で、世界保健機関は生後6ヶ月までの完全母乳育児を推奨しています。硬膜外無痛分娩が完全母乳育児に与える影響はいくつかの研究で評価されていますが、どのような因子が完全母乳育児に影響するかは明らかになっていません。

本研究で初産婦・経産婦を含む硬膜外無痛分娩で出産された女性を対象に完全母乳育児に影響する母側因子と新生児側因子を明らかにすることで完全母乳育児率の上昇に貢献することができます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2011年1月1日から2022年12月31日までの期間中に、無痛分娩で出産された方とその出生児

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、分娩時所見（母側因子：分娩週数、硬膜外無痛分娩開始時の子宮口(cm)、分娩第2期時間、分娩時出血量、陣痛促進剤使用の有無、吸引分娩の有無、新生児側因子：出生体重・身長、臍動脈血Ph、アプガースコア）および一か月健診時の完全母乳育児の有無に関する情報です。

(3) 方法

完全母乳育児の患者さんとそうでない患者さんを比較し、完全母乳育児に影響する因子を解析します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学麻酔科学講座 担当医師 平井 亜葵

TEL : 073 - 441 - 0611 FAX : 073-448-1032

E-mail : akihri@wakayama-med.ac.jp